



知っていますか「あゆ」の生態

去る4月24日（木）緑川漁協の依頼で、4年生が御船川に「あゆ」の稚魚を放流しました。私も一緒に参加しましたが、成魚を見たことも食べたこともないと話す子供もいました。6月からあゆ漁が解禁され、御船川でも漁をする人の姿が見られる季節となりました。そこで、「あゆ」の生態について紹介します。

あゆは、日本の川や湖に住む魚で、体が細長く、きれいな銀色をしています。とてもすばやく泳ぐことができ、「川の女王」とも呼ばれることがあります。

あゆの大好物は「藻（も）」という水の中の植物です。川の岩についている藻をこすり取って食べます。そのため、あゆが元気に育つためには、水がきれいで藻がたくさん生えていることが大切です。

あゆは春に生まれ、夏には川で元気に泳ぎ回ります。そして秋になると産卵のために川の下流へ移動します。卵を産んだあゆは、その後一生を終えてしまいます。だから、あゆの一生は約1年と、とても短いのです。

あゆは美しい姿をしているだけでなく、食べてもとてもおいしい魚です。特に「塩焼き」にすると、香ばしい香りがして、多くの人が大好きな料理になります。

あゆは、きれいな川でしか育つことができません。だからこそ、あゆが元気に泳いでいる川を守ることがとても大事なのですね！



熱中症注意!



梅雨明けを思わせる暑さが続いています。学校では、暑さ指数を基に運動制限をしたり、クーラー利用したりして熱中症予防に努めています。

なお、登下校時の熱中症が心配であれば、日傘を利用されてもかまいません。バランスの良い食事と睡眠時間を十分とり、夏休みまでの1か月を健康で過ごしてもらいたいものです。